

岡林立哉（おかばやし たつや）プロフィール

名古屋出身、高知県在住。日本で数少ないホーミー、馬頭琴の奏者。

1998年始めてモンゴルを訪れホーミーの音色に魅せられる。

以後、計2年以上の滞在期間中の遊牧民との生活、歌を求めての奥地への旅、

02年から2年半に及ぶヨーロッパ、南北米での放浪生活で培った、

素朴で伸びやかな馬頭琴、繊細かつ力強いホーミーは聴く人に驚きと感動を与える。

遊牧民から学んだ多くの歌、モンゴルのお話とともに送る贅沢な「生音コンサート」は、

ホーミーの宇宙的響き、馬頭琴の素朴さ、柔らかさ、「音」そのものの持つ力を表現し、

年齢、性別、民族を越えて好評を博している。

<経歴>

1998年 旅先のモンゴルでホーミーに出会いその魅力にとりつかれる。

1999年 内モンゴルの馬頭琴の世界的演奏家・リポー氏にホーミーの才能を買われ、岐阜県可児市の花フェスタ記念公園にてリポー氏と共演。

2000年 オルティンドー歌手・三枝彩子とのデュオでライブ活動を開始。
モンゴル国立民族歌舞団の前座をつとめる（名古屋・Tokuzo）。

2002年 2月、シベリア鉄道で渡欧。欧州各国でソロでストリートパフォーマンスを開始する。
カウスティネン民族音楽祭（フィンランド）、サーミ音楽祭（ノルウェー）、
ヴィルニユス国際民族音楽祭（リトアニア）にて演奏。

2003年 1月、南・北米大陸へ。インディヘナ花の祭典（エクアドル）にて演奏。
5月、欧州に戻り、ロンドンで1stアルバム「NOMAD」発表。
エジンバラ芸術祭（スコットランド）にて演奏。

2004年 ノルウェー国営ラジオへの生出演。北欧を中心にカフェやライブハウスから
教会や学校での演奏に至るまで、幅広い演奏活動を展開。
3月、帰国、国内で演奏活動を再開。

2005年 3-5月、ヨーロッパへ。リトアニア、エストニア各地で公演。
「愛・地球博」にて演奏。モンゴルツアーを企画し、好評を博す。
モンゴル国の人間国宝・ツェレンドルジ氏（馬頭琴奏者・叙事詩歌手）と共演。

2006年 モンゴルツアー「旅人・岡林立哉同行！モンゴルの大自然にひたる旅8日間」
（風の旅行社）を催行。以後毎年継続して企画。

2007年 モンゴル国の人間国宝・ネルグイ氏（馬頭琴奏者）、クグルシン氏（ドンブラ奏者）
ジョイントツアー2007年の名古屋、京都公演を企画、共演。
NHK総合テレビ・ABU未来への航海「モンゴル大草原クイズ」に出演。
服部克久館長プロデュース「モンゴルの大草原から」に出演。

2008年 1月、2nd CD「北緯48度 天の底」を発表。

2011年 8月、NHKラジオ「ラジオ深夜便」の「ないとエッセー」に4夜連続出演。
全国各地で毎年100ステージ近くのライブを続けている。